

2020年1月26日（日）
ひまわりネットワーク実践発表会

始まりました！ 失語症者向け意思疎通支援事業

～千葉県失語症者向け意思疎通支援者養成講座開催報告～



一般社団法人 千葉県言語聴覚士会

失語症とは？

- 脳血管障害や頭部外傷などによる脳の損傷によって、言葉を操る能力が障害されます
- 「話す」ことのみでなく、「聞いて理解すること」、「読む」、「書く」ことも不自由になります
- 脳の損傷の部位や大きさによって、症状や重症度が異なります
- 千葉県には約2.5万人の失語症者がいることが推計されています



失語症の症状

- 言いたい言葉が出てこない
- 思ったことと違う言葉を言ってしまう
- 聞いた言葉の意味が理解できない
- 字を読んで意味が理解できない
- 文字を思い出せず、書いて伝えることができない

コミュニケーション障害

地域社会からの孤立

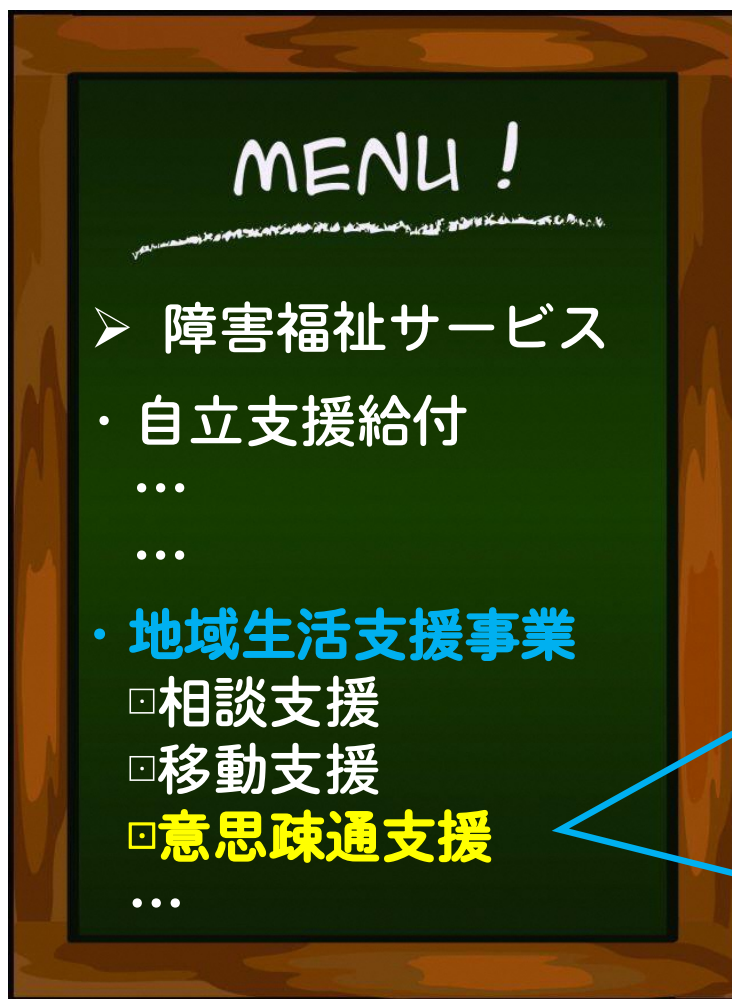


しかし、失語症者の意思疎通を支援する
障害福祉サービスは、無いに等しかった…

失語症者向け意思疎通支援事業が、 地域生活支援事業の一つになりました



自治体は、
障害者総合支援法
に基づいて、
障害者に
福祉サービスを
提供します



MENU!

- 障害福祉サービス
 - ・ 自立支援給付
 - …
 - …
- ・ **地域生活支援事業**
 - 相談支援
 - 移動支援
 - **意思疎通支援**
 - …

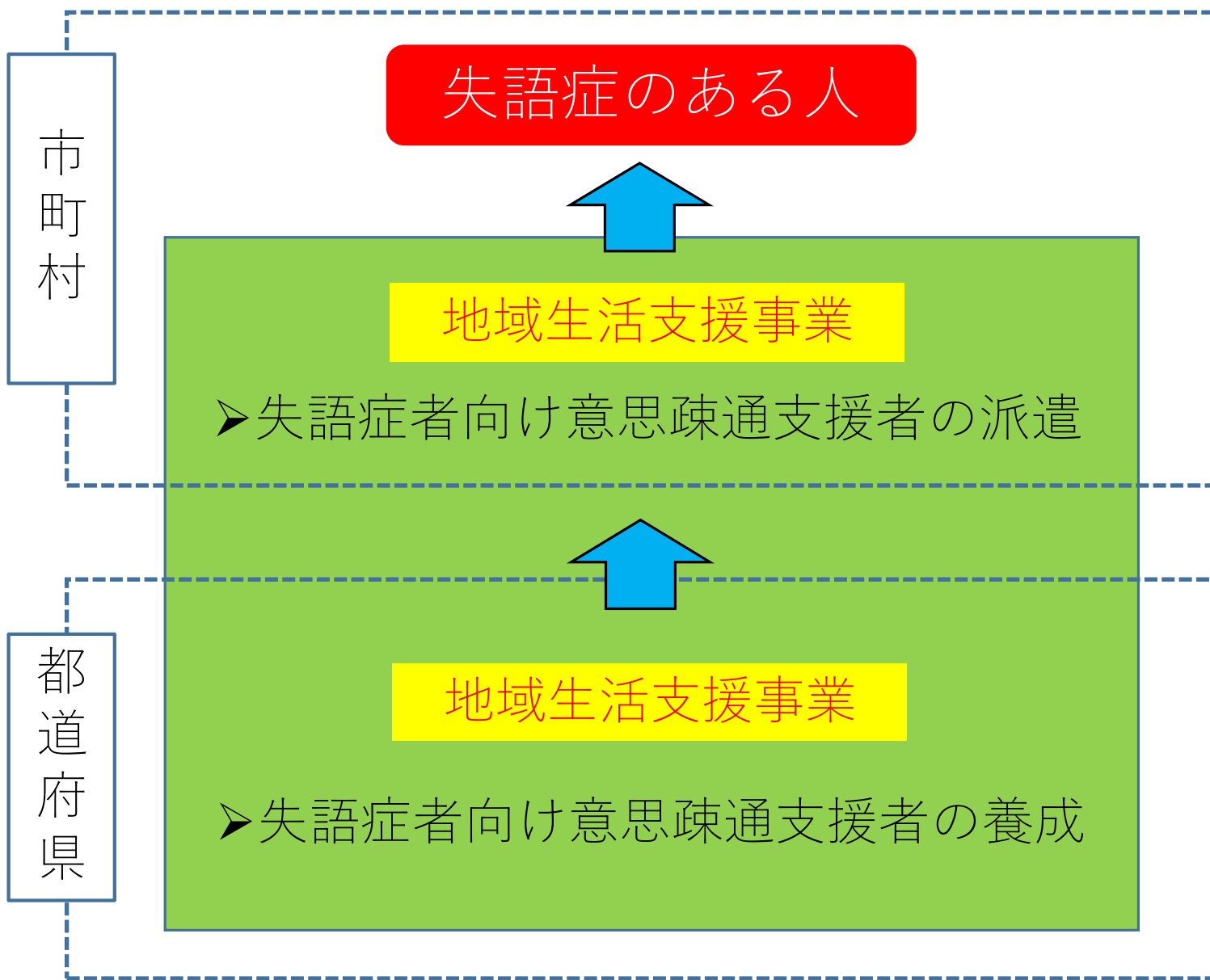


これまで
聾者 ➡ 手話通訳者
中途失聴者 ➡ 要約筆記者
失語症者 ➡ **何もない**



これからは
聾者 ➡ 手話通訳
中途失聴者 ➡ 要約筆記者
失語症者 ➡ **意思疎通支援者**

県と市町村の役割



失語症者向け意思疎通支援者とは？

失語症者向け意思疎通支援者養成研修（40時間）の修了者

<研修の目標は？>

- ・ 失語症者の日常生活や支援の在り方の理解
- ・ 1対1のコミュニケーションを行うための会話技術の習得
- ・ 日常生活上の外出に同行し、意思疎通を支援するための最低限必要な知識、および、身体介助の方法を含む技能の習得

<修了後は？>

県の名簿に登録➡県から市へ名簿を提供

➡市町村から、当事者の申請を受けて派遣

千葉県失語症者向け意思疎通支援者養成講座 (千葉県委託事業)

全9日間(40時間：講義12時間・実習28時間)
22名の《失語症者向け意思疎通支援者》誕生！



会話支援の実習場面：失語症当事者が実習講師をつとめる

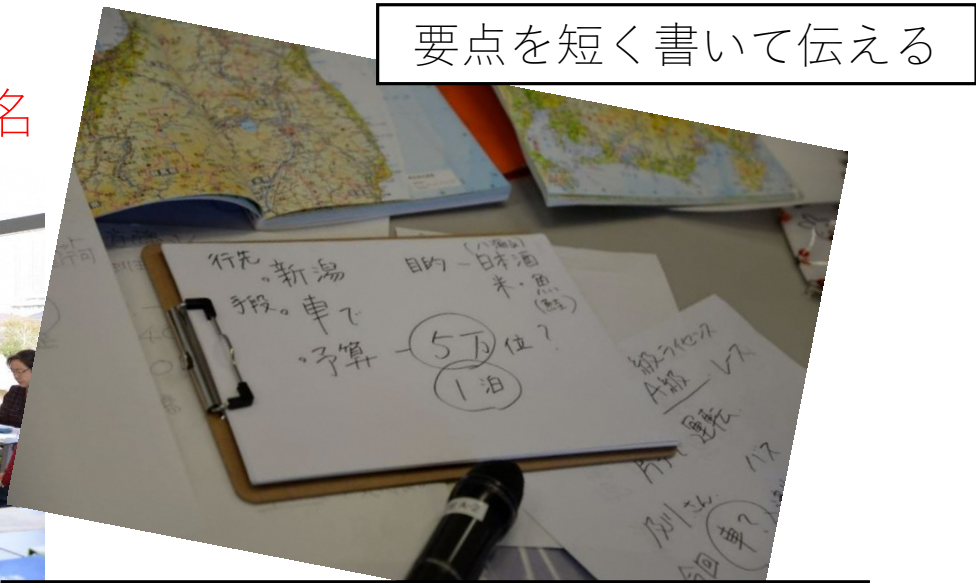
2019年9月29日～11月17日

会場：市川市ふれあいセンター 他

協力：失語症当事者25名 ST23名



講義の様子



要点を短く書いて伝える

養成講座の様子



身体介助を学ぶ



現代産業科学館での同行支援

失語症者向け意思疎通支援者は、
市町村から派遣され、
失語症のある人と、地域社会との
懸け橋として、失語症の人の
社会参加を支援します

意志疎通支援が想定される場面

- 役所の手続き・銀行の窓口・買い物
- 携帯電話、リフォームなどの契約
- 病院受診・介護保険の訪問調査
- サービス担当者会議
- 失語症友の会や会議
- 災害時の情報保障
- ACP（人生会議）でも



失語症者向け意思疎通支援者からの声 船橋市在住 Aさん（ケアマネ）

…実は他のケアマネからの相談を受け、拒否の強い高齢者に会う機会があり、失語症の方とわかり、学んだことを実践しました。これまで一切拒否されていた方が、書いた紙に目をやり頷いて、ジェスチャーをまじえながらも意向を確認することができました。これも研修のおかげです。

もしかしたら、貴方の出会っている利用者のなかに、
あるいはご家族のなかに失語症をもった方がいるかもしれません
脳卒中の既往歴がある場合、交通事故等で頭部に損傷がある場合は、
失語症がある可能性があります。そんなときは、ご本人のよりよい生活
のために、失語症者向け意思疎通支援者のことを思い出し…

ひまわりアドバンス研修～災害看護について～

現場から伝える私の災害看護論から

2019.11.23開催



...気になる男性のことを話しました。その男性は、脱水で点滴治療を受けて避難所へ帰ったそうです。「耳が聞こえず、言葉が話せない方だった、避難所で大丈夫なのかな」と。私たちは避難所で誰かが気にかけてくればよいがと、淡い期待を持ちました。翌日、その男性が再び病院を訪れてきました。点滴3本の指示がでました。水分だけではなく食事も摂っていないのではと思い、身振り手振りで「おなかがすいているのでは？ おにぎりを食べる？ 水をのんでる？」と必死で伝えました。おにぎりをこっそり持ってきて、お水と渡しました。男性はにこっとして食べ始めました。表情のなかった顔が一瞬で笑顔になりました。...必要なのは、点滴よりもいっぱいの水、ひとつのおにぎりだったのです。

こんな場面でも、意思疎通支援者が支援します

ご静聴
ありがとうございます



一般社団法人 千葉県言語聴覚士会